



こ ち よ こ
え とう ち よ こ
藤 千代子

三重児童館の建て替えを

～平成26年度内に新築を検討中～

質 子どもたちは、「大きな児童館が欲しい」と願っているが、現段階での検討状況は。



三重児童館

答 市長 建設予定地として、旧中央公民館南側駐車場部分、もしくは旧庁舎敷地の一角を考えています。
今後の予定は、平成26年度内の完成に向け、平成25年度は児童館の規模の設定や補助金など、関係機関との協議を進めていきます。

質 「ふるさと学習」事業の推進状況と今後の取り組みは。

本市を担う人材育成は

～夢と志、「郷土を愛する子ども」を育成～

答 教育長 総合的な学習の時間を中心に、全ての教科・領域を横断的に体系化した年間指導計画を教育課程に位置付け、年間50時間から70時間、取り組んでいます。
「ふるさと学習」では、地域の方々との出会いがあり、地域の力を活用すること、学校の活性化も図られていますし、逆に地域にも元気を届けています。
来年度も引き続き、「ふるさと学習」を中心に教育TRY運動を推進していきたいと考えていますし、ジオパーク認定の取り組みにも「ふるさと学習」を通して積極的に関わりたいたいと考えています。

質 特色ある学校づくりについては。

答 教育長 各学校独自のテーマを設定しながら特色ある取り組みを展開してきましたが、事業として予算化することにより、実践内容がより拡大され、活動範囲も広がり、講師などの派遣もできるようになりました。
今後は、「ふるさと学習」との組み合わせも積極的に推進していきたいと考えています。
答 市長 中学校3年生を対象にしたふれあいミーティングは。
今後、協働によるまちづくりを進めていくため、子どもから高齢者までの多くの市民の皆さまが「何を望み」「何を期待するのか」などを把握するため、対話を重視し取り組んでいきます。

特色ある学校づくりの取り組みは

～積極的に推進していく～



や かつ とう 衛
藤 竜 哉

質 「特色ある学校づくり事業」の成果報告が行われ、各学校の熱意を強く感じた。
この事業の継続を願い、さらに良い方向に向かうよう教育委員会の意気込みを伺う。
答 教育長 報告された具体的な実践内容は、地域の遺跡や伝統芸能を学んだ「ふるさと学習」とリンクした学校が6校、農業体験学習を中心にした食育の取り組みが4校、高齢者や地域とのふれあいを中心にした取り組みが3校、小



特色ある学校づくりの稲刈りと甘酒づくり（犬飼小学校）

中連携や学校図書館の活用などの学校研究を深化させた実践が5校でした。
特に、調べ学習を活用した考える学習を市全体に広げていけたらと考えています。

質 中国からの大気汚染は無関心ではいられなくなり、幼児から高齢者の幅広い世代の健康に及ぼす影響が心配である。
市独自の監視をし、それを市民に情報として知らせる必要があると考えるが。
答 市長 現在、豊肥保健所に設置してある測定局に「PM2.5」用の測定器を取り付けるよう、県に対して働きかけを行っていきたいと考えています。

質 グループホームなどの防災対策は大丈夫か
消防署の検査を受け、点検を行った
た、担当課や消防署の指導、検査などは十分か伺う。
答 高齢者福祉課長 市内には、52カ所の入所施設があり、長崎

市は、豊肥保健所に設置してある測定局に「PM2.5」用の測定器を取り付けるよう、県に対して働きかけを行っていきたいと考えています。
今後は、県などと連携を密にして情報収集に努め、現状の連絡体制、情報提供体制を使い、広く市民の皆さまにお知らせしていきたいと考えています。

「PM2.5」は大丈夫か

～情報収集に努め、市民に広く周知する～